

巻頭言 —前向きに捉えて—

前部会長の推薦，またそれに伴う部会員の皆様の承認を賜り，2021年度より外国語教育メディア学会中部支部外国語教育基礎研究部会（基礎研）の部会長を務めております名古屋大学大学院博士後期課程2年の寺井雅人と申します。

新型コロナウイルス感染症の影響により，これまで対面で実施していた週例会をオンラインで開催するようになり，一年以上が経過しました。前年度に引き続き，全国各地から週例会へご参加いただきました。参加者の数は前年度よりもわずかながら増え，現在も増加傾向にあります。参加者が増えたことで，週例会がより活気あるものになりました。研究テーマが近い参加者が集まり，独自の勉強会が複数発足したりなど，週例会以外でも活発に研究に取り組んでいます。本部会は勉強会の場だけではなく，所属や異なる大学院生や研究者の交流の場としての役割を果たしていると感じています。

2021年11月には名古屋大学大学院人文学研究科英語教育学分野と共同で公開講座をオンラインで開催し，100名近い参加者にお越しいただきました。2代目部会長である田村祐先生に「一般化線形混合モデルの実践 一気につけた三つのポイント」という表題で講演いただきました。また現部会長である寺井も「第二言語習得研究の始め方 —大学院入学から国際誌掲載までの3年間を振り返って—」という表題でお話させていただきました。この講座への参加がきっかけで本部会へ参加された方も複数いらっしゃいました。

この一年，新型コロナウイルス感染症に振り回されたこともありましたが，この現状を悲観することなく前向きに捉えてきました。対面での実施はできませんでしたが，ウェブ会議システムでの開催の利点を活かし，ソーシャルメディアなどで広報活動を積極的に行い，全国各地からの参加者を募集しました。来年度も引き続きオンラインでの開催を予定しています。先が見えない中ではありますが，基礎研のさらなる発展のために，私を含め運営一同より一層の努力をしていきます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

寺井 雅人

名古屋大学大学院人文学研究科博士課程後期課程2年
外国語教育メディア学会中部支部外国語教育基礎研究部会部会長